

資料の選択手段(Tool)

高槻赤十字病院図書室

浜 口 恵 子

選択のToolとは、選択や発注の仕事に利用される種々の参考資料のことである。資料を選択するにあたっては、現在の出版情報を正確に入手することが大切である。そのためには、以下に述べる資料をできる限り収集して情報を集め、目を通しておく必要がある。

I 出版社や書店発行のパンフレット

出版社からのダイレクト・メール等がこれにあたる。主に、新刊・近刊の情報が掲載されている。中には、新刊書の構成・内容等を詳しく紹介しているものもあるので、参考になる。

II 新聞、雑誌の広告

1. 医学関係の新聞

(1) 週刊医学界新聞 (医学書院)

主に医学書院発行の図書、および医学書院を通して入ってきた洋書の新刊案内が載せられている。

(2) 医海時報 (金原出版)

金原出版発行の図書が掲載されている。

2. 一般の新聞

一般の新聞からも、情報は得られるので、心にとめておきたい。

3. 雑誌の広告、新刊案内、Review欄

(1) 医学のあゆみ (医歯薬出版)

“ほん”欄に、書評と、だいたい一月に一回“今月の新刊”として、新刊書の紹介が掲載されている。また、雑誌の特集記事も掲載される。

(2) Journal of American Medical Association.

(3) Lancet.

(4) New England Journal of Medicine.

その他、(1)～(4)以外の雑誌についても、広告・新刊案内欄・Review欄があり、情報も豊富なので、いつも目を通すように心がけたいものである。

III 出版目録などの書誌類

1 和 書

(1) 各出版社の目録

出版社には、独自で目録を作成している所が多い。出版社によっては、ある特定の分野のものだけを出版している所もあるので、その分野の資料を探している場合など非常に便利である。できるだけ揃えておくとよい。

(2) 医学書総目録 (日本医書出版協会) 年刊

毎年3月に発行される。その時点においてわが国で出版されている医学書・医学雑誌のほとんどが、関連領域も含め、収録されている。1978年以前は、日本医書出版協会(以前:日本医書目録刊行会)

- に加盟している出版社21社の出版物のみが掲載されていたが、1979年以降は、非加盟の出版社107社をも網羅した、文字通り日本の医学書に関する総目録である。
- (3) 医学書情報 (日本医書出版協会) 月刊
毎月初めに発行される。従来の「医学書新刊(月刊)」と、「雑誌特集テーマ(月刊)」の2つが1つになったもので、1985年10月よりこの形で発行されている。日本医書出版協会加盟の21社の新刊案内および雑誌特集テーマの案内である。(2)の「医学書総目録」発行後に出版された新刊、改訂版等が掲載されており、「医学書総目録」の補足的役割を果たす。
- (4) 医学書総目録 (医学書院) 季刊
(2)と同様、国内で刊行されている医学書のほとんどが収録されている。また、医・病院経営書等も広く掲載されている。掲載出版社 250社、掲載図書9000点、掲載雑誌 470誌である。季刊であるので、(2)に比べて新刊書の掲載が早い。
- (5) 日本書籍総目録 (日本書籍出版協会) 年刊
わが国で流通している書籍を可能な限り網羅したものである。前年の12月31日までに発行されたもの、即ち1985年版の場合は1984年12月31日までに発行され、1985年5月現在で入手可能と思われる書籍を掲載している。1985年版の掲載書籍は 357,202 点、発行所は4623社にのぼる。雑誌、官公庁出版物、非売本は収録されていない。書名編 2冊、索引編 1冊の全3巻から成る。索引編には、著者索引、シリーズ索引、発行所一覧、出版統計などが含まれている。
- (6) これから出る本 (日本書籍出版協会) 月2回〔1日、16日発行〕
(5)の「日本書籍総目録」発行後の補足的役割を果たす。年2回索引号が出る。
- (7) 新刊図書目録 (東販) 月刊
- (8) ウィークリー出版情報 (日販) 週刊
(7)、(8)は、わが国の二大取次店の案内である。
- (9) 出版ニュース (出版ニュース社) 旬刊〔月3回〕
新刊書を対象とした一般的な書評誌で、国立国会図書館に納本された新刊書の目録を転載したものである。新刊リストの他に、出版・文化諸事情の紹介、論説等が掲載されている。
- (10) 出版年鑑 (出版ニュース社) 年刊
年間に出版される新刊・重版書と雑誌の目録を主としたものである。「出版ニュース」のリストを年間でまとめたものを本体とし、その他出版に関する諸統計・要覧・名簿・年間の情勢等がまとめられている。
- (11) 日本全国書誌週刊版 (国立国会図書館)
以前は「納本週報」という呼称であったが、昭和56年1月より「日本全国書誌週刊版」に改題された。国立国会図書館に納本された日本国内の出版物の書誌情報をコンピュータによって編集し、毎週速報しているものである。構成は、官公庁納入の部と民間納入の部に大別される。配列は、官公庁納入の部は省庁等の組織順、民間納入の部はNDC順となっている。年4回「日本全国書誌週刊版索引」が発行される。
- (12) 日本全国書誌年刊版 (国立国会図書館)
(11)の週刊版に収録されたものを1年分まとめて編成したもので、以前の「全国日本出版物総目録」が改題され、「日本全国書誌年刊版」となった。

一 政府刊行物一

政府刊行物は、一般の医学関係抄録・索引誌等の二次資料には原則として収録されていない。加えて、非売品や発行部数の少ないものが多く、検索や入手に際しては困難が伴う。

しかし、医学分野において重要な研究報告等も多く含まれているので、できる限り情報を入手するのが望ましい。

政府刊行物情報の入手には、先に述べた(11)(12)の「日本全国書誌」が挙げられる他、以下のものがある。

(13) 政府刊行物等総目録 (全国官報販売協同組合) 年刊

全国官報販売協同組合は、全国の官報販売所によって結成されており、大蔵省印刷局内にある。

「政府刊行物等総目録」は、従来の政府刊行物等目録の「定時刊行物資料編」(年刊)と「随時刊行資料編」が統合されたもので、1980年版(昭和54年発行)からこの資料名に改題された。政府刊行物および準政府刊行物を広範囲に収録している。政府関係の刊行物の販売目録として利用しやすいものであるが、非売品は調査できない。

(14) 月刊政府刊行物 (全国官報販売協同組合) 月刊

(13)の「政府刊行物等総目録」の速報版とも言えるもの。毎月1日発行で、前月に出版された市販される政府刊行物、その他関連の実務書等を広範囲にわたって収録している情報誌である。

(15) 政府刊行物新聞 (全国官報販売協同組合) 月2回〔5日、20日発行〕

市販される政府刊行物を詳しい解説付で紹介した、政府刊行物出版情報の速報紙である。民間各社から発行される関連の実用書を含む新刊・近刊のリストも掲載している。毎年、A4判の縮刷版が発行される。これには各種索引が付き、利用しやすいものとなっている。

(16) 政府資料等目録 (政府資料等普及調査会) 月刊

政府資料等普及調査会の資料室が、各

政府機関・関係機関の協力によって前月に入手し、受入・整理をした、非売品を中心とする政府刊行物を収録した月刊誌である。市販されるものも含むが、販売目録と違い、非売品の資料をも調査できるのが大きな利点である。

(17) 官庁資料要覧 (政府資料等普及調査会) 年刊

前記(16)「政府資料等目録」の1年分に加えて、この月刊資料に未収録のものをも統合した資料である。掲載の資料についてかなり詳しい解説がついており、内容を知るのに便利である。これらの掲載資料は、特別なもの以外は、政府資料等普及調査会にてコピーサービスを受けられる。

－看護関係－

(18) ナースと本 (医学書院) 季刊

(19) 看護学・医学図書目録 (メヂカルフレンド社) 年刊

(20) 図書目録 (日本看護協会出版会) 年刊
(18)～(20)は3点とも、看護およびその関連分野の資料の目録である。

－Core Booksのリスト－

(21) 医学資料の整理と利用－病院図書室マニュアル－付録：医学基本図書目録・和書 (近畿病院図書室協議会編 トシマ参考図書発行) 1984

この“医学基本図書目録”は、洋書と和書とに分かれており、和書の部には、374冊が収載されている。主題の配列はBrandon Listに準じ、各カテゴリー内は書名のアルファベット順に配列されている。講座・大系・全書等は、まとめて最後にリスト・アップされている。和書の場合、今まで病院図書室向けの基本図書目録がなかったので、きわめて有用な資料といえる。

2 洋 書

(1) **MARUZEN Announcement of
of New Books. Part D:Me-
dical Sciences.** (丸善) 月刊

書店発行の新刊・近刊案内で、毎月1日に発行される。出版元の最新の資料から選択した近刊書と、最近入荷した新刊書がリストされている。

(2) **Medical Book News.**

(医学書院) 月刊

書店発行の新刊・近刊案内である。過去1カ月間に入荷した新刊書と、1~2カ月以内に出版予定の近刊書がリストされている。入荷した主な新刊書の内容等については、「週刊医学界新聞(医学書院)」上で紹介される。

(3) **NANKODO Book Bulletin.**

(南江堂) 隔月刊

(1)、(2)と同様、書店発行の新刊・近刊案内である。新着書と近日中に入荷予定の新刊書、および1~2カ月中に出版予定の近刊書がリストされている。

(4) **Medical Books** 新刊・在庫

(丸善) 半年刊

過去半年間に入荷した新刊書と若干の近着書を収載している。

(5) **Foreign Medical Books.**

(医学書院) 年刊

(6) **Medical Books Stock List.**

(南江堂) 年刊

(5)、(6)は、医学洋書の在庫一覧表で、常時在庫しているものが選ばれている。

(7) **Bio-Medicine Serial Publi-
cations.**

(丸善) 1981

洋書の医学継続出版物目録で、医学および関連分野における主要シリーズが約1,200タイトル収録されている。

(8) **Textbooks and Reference
Books for Medical Study.**

(丸善) 年刊

定評ある医学教科書、参考書が1,300点以上収録されている。

(9) **Imported Textbooks, Re-
ference and Reprints.**

(トッパン) 年刊

日本国内で出版されているリプリント版、大学レベルのテキスト向き輸入洋書およびリファレンスブックが、1985年版で3,762点収録されている。

(10) **Books in Print. 6vols.**

(Bowker)

年刊

米国の18,200社を上回る出版社から刊行され、現時点において入手可能な出版物約693,000点がリストされている。著者編・書名編(各3巻)より成る。

(11) **Medical Books and Serials
in Print.**

(Bowker)

年刊

医学および精神医学、獣医学、歯科学、看護学等、5,000にもものぼる主題領域での有用な文献が収録されている。約60,000点を数える逐次刊行物および医学書が、それぞれ著者、タイトル、領域別にリストされている。また、全出版社の現住所も収載されている。

(12) **NLM Current Catalog. (NLM)**

季刊

医学文献の収集では世界最大規模のアメリカ国立医学図書館の目録速報である。アメリカ国立医学図書館およびアメリカ合衆国における他の主な医学図書館で受け入れている図書と雑誌がリストアップされている。

(13) **NLM News.(NLM)**

月刊

NLMの出版物に関する情報を入手するのに効果的なものである。このサブメントとして、毎年5月にNLMの出版物総覧が刊行される。NLMから無料で入手できるもの、バックナンバーの在庫、絶版情報、リプリント版の発注先等が網羅されている。

— Core Books のリスト —

(14) **Brandon,AN: Selected List of Books and Journals for the Small Medical Library.**

Bull. Med. Libr. Assoc.
73(2):176-205,1985.

いわゆる“Brandon List”と呼ばれるものである。1965年に初めて出されて以来、定評がある。2年に1回、No.2(4月号)に新しいリストが出されている。1985年版には、単行書が538冊、雑誌が138誌収録されている。

(15) **Lewis,CS: A Library for Internists V.**

Ann. Intern. Med.
102(3):423-437,1985.

これは、インターン向けの単行書と雑誌を収録したもので、臨床とその研究に必要なタイトルが選定されている。看護、歯科、医史学、病院管理、索引等の部門は含んでいない。このリストのI~IVはAllyn, R.が編集をしていたが、最新リストの1985年版は、Lewis, CAが編集をし、内容も新しくなっている。1985年版には単行書が191冊、雑誌が57誌収録されている。

(16) **Stearns,NS: An Integrated Health-Science Core Library for Physicians, Nurses and**

Allied Health Practitioners in Community Hospitals.

N.Eng.J.Med. 283(27):1489-1498,1970.

これは、アメリカ合衆国全国の各分野の専門家2,700人にアンケートを出して、返答のあった1,364人分を集計して出したものである。87の単行書と74の雑誌があげられている。

(17) **医学資料の整理と利用—病院図書室マニュアル— 付録:医学基本図書目録・洋書(近畿病院図書室協議会編 トシマ参考図書発行) 1984**

5種類の既成のリストを参考にして図書リストを作り、和書と同様、近畿病院図書室協議会加盟の15機関にアンケートを依頼し、集計したものである。この洋書の部では、言語を英語のみに限り489冊を収録している。主題配列はBrandon Listに準じ、各カテゴリー内は著者・編者のアルファベット順に配列されている。

3 洋雑誌

(1) **Catalog of New Journals.**

(丸善) 年刊

医学を含め、全分野の雑誌が収録されている。毎年、過去2年の間に創刊された雑誌を掲載している。

(2) **New Periodicals.**

(紀伊国屋) 年刊

(1)と同様、創刊誌を収録している。

(3) **Subscription Catalog.**

(丸善) 年刊

雑誌の販売カタログで、医学を含め全分野の雑誌が約10,000点収録されている。

(4) **Subscription Catalogue.**

(紀伊国屋) 年刊

(3)と同様、医学を含め、全分野の雑誌が収録されている。

(5) **Foreign Medical Periodicals.** (医学書院) 年刊

(6) **Medical Journals.**
(南江堂) 年刊

(5)、(6)は、医学および関連分野の雑誌の販売カタログである。

(7) **Ulrich's International Periodicals Directory.**

(Bowker) 年刊

世界定期刊行物総覧。世界の主要な定期刊行物約112,000点の誌名・創刊日付・刊行頻度・編集者・出版社・出版地・価格等を収録する他、国際機関の出版物索引・書名索引・ISSN(国際標準逐次刊行物番号)もついている。1985年で第24版である。

(8) **Medical Books and Serials in Print.** (Bowker) 年刊

洋書(11)を参照。

(9) **Irregular Serials and Annuals : International Directory.**

(Bowker) 年刊

刊行時期が一定でない不規則の逐次刊行物・年鑑類を、64,800点以上収録している。

—二次資料の収載誌リスト—

雑誌の選択においては、二次資料に収録されているか否かも重要な選択基準となる。したがって、以下の二次資料の収載誌リストも選択Toolとなり得る。

(10) **Index Medicus.**

アメリカ国立医学図書館発行の世界的な索引誌である。約2,800誌が収録され、年間の収載文献数は25万件にものぼる。

(11) **Abridged Index Medicus.**

(10)の“Index Medicus”の簡略版である。“Index Medicus”に含まれる、英語で書かれた臨床系の主要雑誌をピックアップして収録している。1985年版で、117誌を収録。特に、病院図書室においては、有用と思われる。

(12) **Excerpta Medica.**

オランダのExcerpta Medica Foundationから刊行されている、月刊の英語の抄録誌である。医学および関連分野の学術雑誌約3,500誌を収録している。そのうち約200誌が日本の雑誌である。年間の文献収録件数は約28万件である。

(13) **Biological Abstracts.**

アメリカのBio-Sciences Information Serviceから刊行されている。生物学全般の文献を網羅的に収録している。収録誌は約9,000誌、年間18万件的抄録が掲載されている。

(14) **Chemical Abstracts.**

American Chemical Societyより、月2回刊行されている。14,000誌以上の化学関係の雑誌に加え、特許文献、新刊図書なども対象とする、非常に網羅的な抄録誌である。年間50万件以上を収録。

(15) **Current Contents.**

アメリカのInstitute for Scientific Informationより週刊で発行されている目次速報誌である。これは、各雑誌の目次をゲラ刷りの段階で集めて編集発行したもので、情報の速報性が高く、最新の文献を知るのに効果的である。種類の分野に分かれているが、医学分野のシリーズとしては、“Life Sciences-(約1,200誌収録)”と、“Clinical Practice(臨床系約780誌収録)”とがある。

また、以下のような雑誌所在目録も、他館

+の所蔵状況を知った上で雑誌の選択を行うという点において、有用な Tool と言えよう。

(16) 医学雑誌総合目録 欧文編 第6版
(JMLA) 1977

(17) 現行医学雑誌所在目録
(JMLA) 年刊

—Core Journals のリスト—

(18) Brandon, AN: Selected List of Books and Journals for the Small Medical Library.

Bull. Med. Libr. Assoc.
73(2):176-205, 1985.

(19) Lewis, CS: A Library for Internists V.

Ann. Intern. Med.
102(3):423-437, 1985.

(20) Stearns, NS: An Integrated Health-Science Core Library for Physicians, Nurses and in Community Hospitals.

N. Engl. J. Med.
283(27):1489-1498, 1970.

(18)~(20) は、洋書の (14)~(16) を参照。

(21) Bell, JA: The Academic Health Sciences Library and Serials Selection.

Bull. Med. Libr. Assoc.
62(3):281-290, 1974.

アメリカの大規模医学図書館の所蔵リストを調査し、90%以上の図書館で収集されていた雑誌をあげたもので、369誌より成る。どちらかという、大学医学図書館向けのリストである。

(22) Usdin, BT. Core List of Medical Journals.

Bull. Med. Lib. Assoc.
67(2):212-217, 1979.

下記の5種類のリストのうち、4種類以上のリストに重複してあげられている雑誌を収録したもので、71誌より成る。病院図書室向けのリストと言えよう。

a) Brandon, AN: Selected List of Books and Journals for the Small Library.

Bull. Med. Libr. Assoc.
65(2):191-215, 1977.

b) Allyn, R: A Library for Internists II.

Ann. Int. Med.
84(3):346-373, 1976.

c) Bell, JA: The Academic Health Sciences Library and Serials Selection.

Bull. Med. Libr. Assoc.
62(3):281-290, 1974.

d) Moll, W: Basic Journal List for Small Hospital Libraries.

Bull. Med. Libr. Assoc.
57(3):267-271, 1969.

e) National Library of
Medicine: List of 100 Titles
for Abridged Index Medicus.
Abridged Index Medicus
9(1):vi, 1978.

- (23) 医学文献の探しかた
(日本医書出版協会) 1983
高度利用重要雑誌300誌の選定リスト

4 和雑誌

- (1) 医学書総目録 (日本医書出版協会) 年刊
(2) 医学書総目録 (医学書院) 季刊
(3) 出版年鑑 (出版ニュース社) 年刊
(1)~(3)は、和書の(2)(4)(10)を参照。

- (4) 日本雑誌総覧 (出版ニュース社) 3年刊。
日本で刊行されている雑誌を網羅的に
収録したものである。個々の記入は、誌
名・発行所・刊行回数・判型・定価・創
刊年・NDCによる分類記号等である。

- (5) 雑誌のもくろく (雑誌目録刊行会) 年刊
全国の書店で販売されている商業雑誌
約2,900誌が収録されている。収録範囲
は一般娯楽雑誌から学術雑誌まで、全分
野にわたる。

- (6) 主要医学雑誌一覧
(日本医書出版協会) 年刊
日本医書出版協会加盟の21社が発行し
ている雑誌の一枚もののリストである。
各雑誌の発行回数、前金年間予約購読料、
出版社等が掲載されている。

その他、Toolとして有用な二次資料に
は次のようなものがある。

- (7) 医学中央雑誌 収載誌目録 年刊

医学中央雑誌刊行会が入手している資
料(定期刊行物)を、休刊誌・廃刊誌を
も含めて、収録している。最新の1985~
1986年版(1985年9月30日現在)では、
和文誌1640誌、欧文誌139誌、計1779誌
の他、休・廃刊誌627誌を収載している。

- (8) 医学雑誌総合目録
和文編・国内欧文編・華韓編 第6版
(JMLA) 1980
(9) 現行医学雑誌所在目録
(JMLA) 年刊

なお、和雑誌の場合は、“Index Medicus
や“Excerpta Medica”等の外国の二
次資料には、言語的な問題があって収録され
にくい。つまり、言語的に理解の困難な資料
は除外されやすいと言える。例えば、“Cu-
rrent Contents”は目次速報誌であるた
め、その性格上、目次が英訳されていない日
本語の雑誌は収録しにくいという制約がある。
また、“Excerpta Medica”は抄録誌で
あるため、英文抄録がついていないと収録は
むずかしい。その他の二次資料についても同
様である。

以上のような理由により、和雑誌の場合、
外国の二次資料に収録されているか否かが、
その雑誌が重要かどうかの評価の尺度、ある
いは選択の指標とはならないと思われるので、
ここではあげていない。

以上、I~IIIまで選択のToolを種々あげ
たが、これらはいずれもどれか一つのみでは
十分とはいえないので、できる限り多く収集
し、選択に際しては必ず複数のもので調査す
るようにしなければならない。